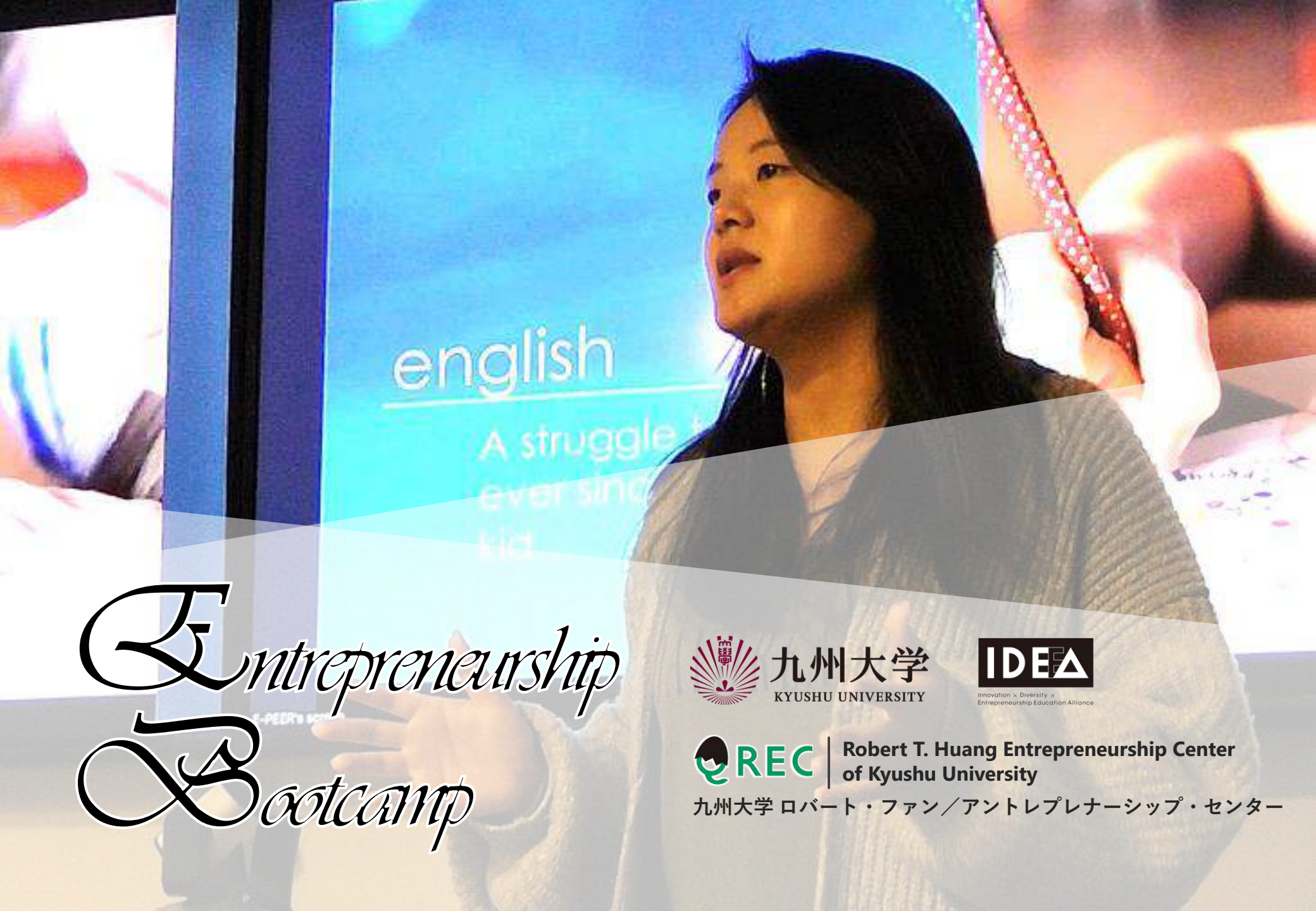


Entrepreneurship Bootcamp

九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

IDEA
Innovation × Diversity × Entrepreneurship Education Alliance

REC | Robert T. Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University

九州大学 ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター

プログラムの狙い　Goal of the Program

福岡発、世界水準のアントレプレナー育成プログラム

米国・ボストンにて、 MIT Bootcamps “24 Steps to a Successful Startup”にのっとり、同校公認講師とのパートナーシップのもと、創業実践プログラムを実施し、世界水準のアントレプレナーを育成します。

“アントレプレナー”とは、社会に存在する課題を自分事としてとらえ、不満や不便をビジネスチャンスに転換するスキルと、前人未踏の領域において答えを「探す」のではなく自ら答えを「創り出す」マインドセットを備えた人材像を指します。

Entrepreneurship Bootcampは、必ずしも受講生が修了後、即起業することを目標とする「起業家育成プログラム」ではありません。むしろ、産官学あらゆるセクターにおいて新規事業やイノベーション創出プロジェクト、革新的研究等をリードできる次世代リーダーを育成することを目的としています。

この目的達成のために、受講生は三ヶ月の事前研修を経た後に渡米し、約十日間のスタートアップ創業実践プログラムに取り組みます。現地でチームを結成してビジネスプランを作成するだけでなく、世界各地にヒアリングを行って市場の存在と規模を確かめ、プロトタイプを作成。わずかな期間で独創的な新規事業プランを構築して、プロの投資家・VCにプレゼンテーションを行います。さらに、振り返りを通してこれらの経験を省察し、自己発見とビジョン策定につなげます。

PROGRAM PARTNER

TAKTOPIA

KNOWLEDGE PARTNER

MIT BOOTCAMPS

Copyright © 2017 Robert T. Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University. All rights reserved.

24 STEPS TO A SUCCESSFUL STARTUP

出典：Bill Aulet. (2013). *Disciplined Entrepreneurship: 24 Steps to a Successful Startup* (1st ed.). New York: Wiley.

プログラム受講生　Program Participants

国際性とダイバーシティ

Entrepreneurship Bootcampの受講生は、九州大学が主幹する『多様性と創造的協働に基づくアントレプレナー育成プログラム（Innovation x Diversity x Entrepreneurship Education Alliance = “IDEA”）† 』関係機関に所属する学生と社会人が対象となります。

IDEAは、九州大学（主幹機関）、立命館大学・奈良先端科学技術大学院大学・大阪府立大学（協働機関）、広島大学・立命館アジア太平洋大学・福岡大学・崇城大学（協力機関）、さらにはアジア及びヨーロッパの主要大学、九州・関西の企業、自治体、NPOから成る産学官連携アントレプレナー育成コンソーシアムです。

このIDEAを母体とするEntrepreneurship Bootcampには、専門性、経歴、文化など、多次元的ダイバーシティを体現する、多様性あふれる受講生が参加します。

2017年度は、九州大学と立命館アジア太平洋大学をはじめとする４つの機関から、9つの国籍と9つの専門・専攻分野を持つ、計25名の大学生、大学院生（MBA含む）、社会人がプログラムに参加しました。

† 文部科学省「次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）」採択。
http://qrec.kyushu-u.ac.jp/edge-next_program/

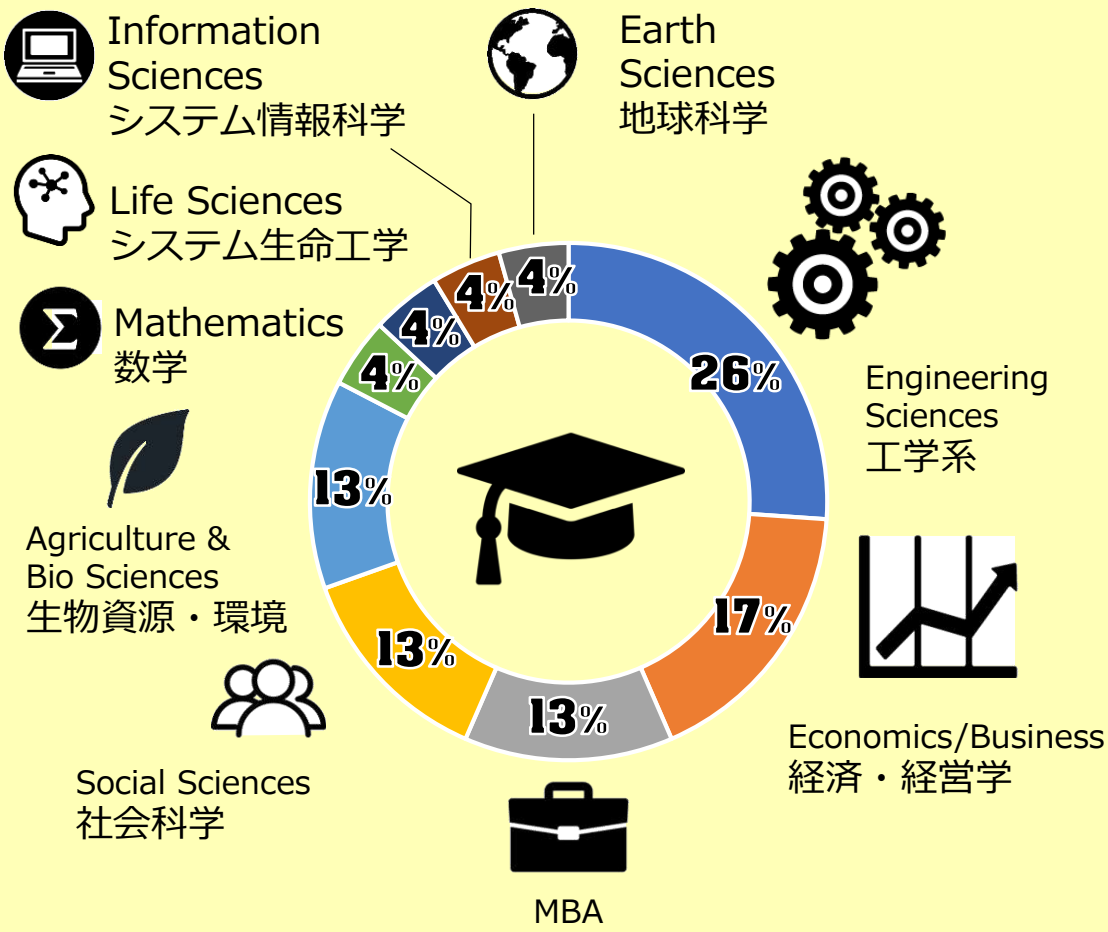
IDEA
Innovation × Diversity × Entrepreneurship Education Alliance

九州大学 KYUSHU UNIVERSITY

Copyright © 2017 Robert T. Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University. All rights reserved.

2017年度の受講生について　Facts about the 2017 Participants

MAJORS　専攻・専門



AFFILIATION　所属

- 九州大学 20名
- 立命館アジア太平洋大学 3名
- 協賛企業社員 2名

NATIONALITY　国籍・文化

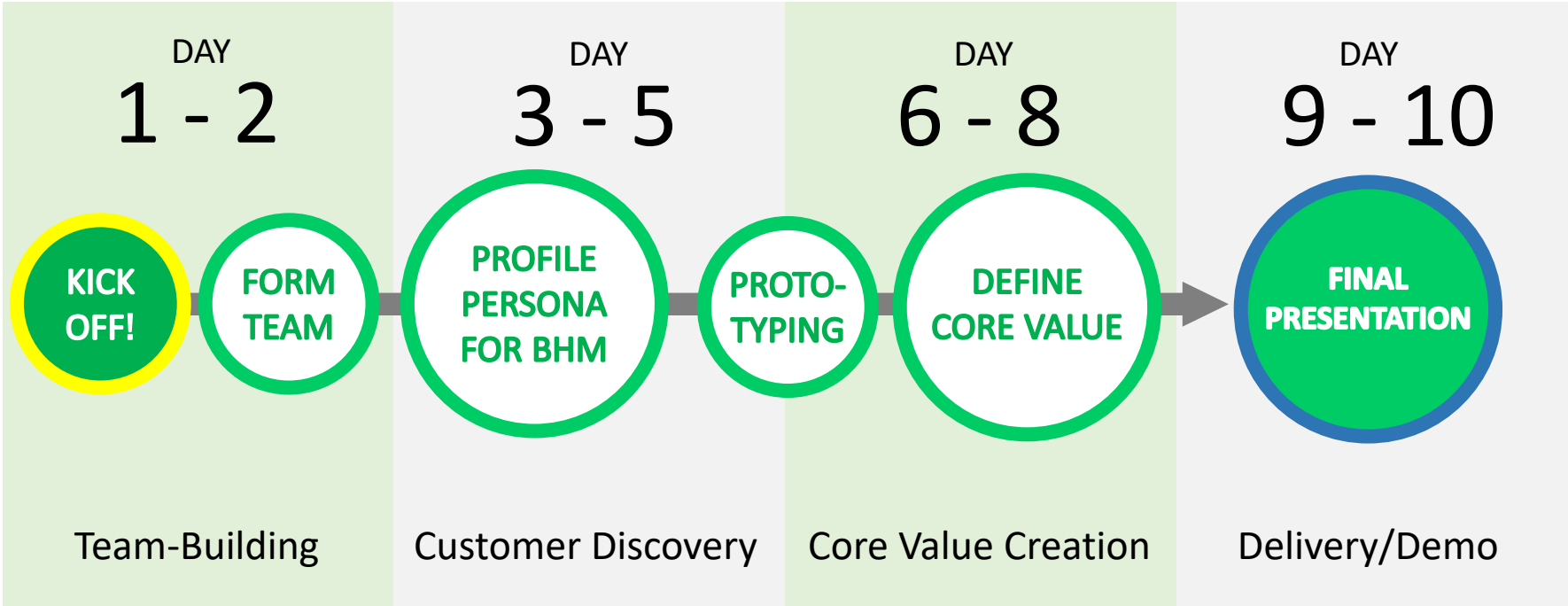
- 日本 11名
- 中国 6名
- パキスタン 2名
- ガーナ 1名
- インドネシア 1名
- マレーシア 1名
- 英国 1名
- インド 1名
- バングラデシュ 1名

Copyright © 2017 Robert T. Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University. All rights reserved.

プログラムの流れ　Program Schedule

Entrepreneurship Bootcamp受講生は、約10日間のうちに、
自らの問題意識にもとづいてチームを結成し、アイデアを練り、
市場調査、プロトタイプ作成、ビジネスプラン構築、そして
投資家へのプレゼンテーションを行います。

プログラムの模様はFacebookページ（www.facebook.com/QRECEntrepreneurshipBootcamp/）
及び右記のYouTubeプログラム紹介ムービーにてご覧いただけます。



Copyright © 2017 Robert T. Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University. All rights reserved.

1 What h
ENTREPREN P BOOTCAMP
2018.2.22-3.04

プログラムの特長①　Program Highlights - 1

受け身の「国際交流」や企業視察、ツアーではない、本気で取り組むフルコミットベースのワークショップ

朝から一日中、ときには宿舎に帰った後も、深夜に及ぶまで、受講生たちはプログラム期間中すべての時間をフルに使ってプロジェクトに取り組みます。

本気で取り組むからこそお互いを深く理解し合うことができる。そして、同時に自分自身の価値観や信念、ビジョンがどこにあるのかを発見する。

Entrepreneurship Bootcampをともに「サバイバル」した受講生たちは、年代や国籍を超えた、強い絆で結ばれ、プログラム修了後も強固なネットワークを通して相互のキャリア開発を支援し合うようになります。

Copyright © 2017 Robert T. Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University. All rights reserved.

プログラムの特長②　Program Highlights – 2

世界が注目する気鋭の起業家による特別セミナー

MIT発スタートアップ創業者や世界トップレベルのアントレプレナーシップ教育の権威など、錚々たる外部講師を迎えての特別セミナーを連日開催。

2017年度 Entrepreneurship Bootcamp の主なセミナー等協力企業・機関（事前研修における寄付講座提供を含む）:

NVBOTS

CONQUERX

domeyard

BABSON COLLEGE

DR. E'S LAB

LOOP

SIGMAXYZ

Lts

FUKUOKA growth neXt

Copyright © 2017 Robert T. Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University. All rights reserved.

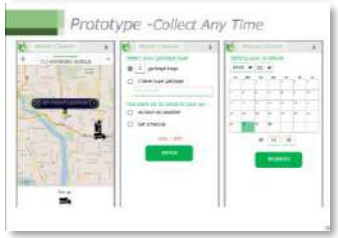
2017年度受講生チームの提案　Bootcampers' Ideas

United Healthcare

「早食い」に注目し、その解消につながるIoTデバイス型の箸を提案。

日常的なトピックに対して、早食いが各種の健康問題や生活習慣病に影響を及ぼすこと、食事のスピードを抑えることが早食い解消に最も効果的であることを学術的データをもとに訴え、きわめてシンプルな「Digital Chopsticks」というソリューションに結びつけました。

プレゼンテーションでは、構想だけではなく、デバイスの機械的構造も示して実現可能性を論証したこと、健康に関心が高い顧客層を取り込み、将来的にはデータビジネスを中心としたエコシステム形成につなげるビジョンの発展性を強調したことが高く評価されました。



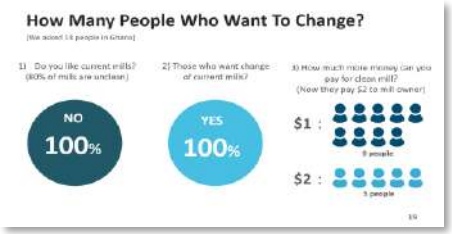
WasteCleaner

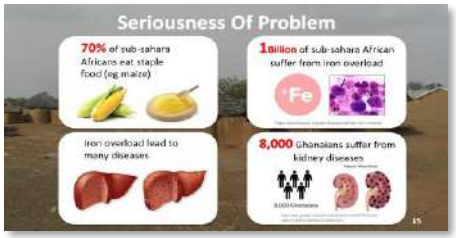
新興国パキスタンにおいて、人口爆発と経済発展に都市インフラの開発が追いついていないことに着目。

首都イスラマバードにおいて、外資系企業や国際機関に勤務し、先進国のライフスタイルに馴染みがあるExpat（外国人居留者）及び国内富裕層をターゲットに、UBERのようにオンデマンドでごみ収集を請け負うことを提案しました。さらに、スラム街で生活する人々を収集人として採用することにより、雇用の創出と富の再配分にも貢献します。

チームメンバーたちはプログラム修了後、就職・転職または従来の業務に取り組みながら、サイドプロジェクトとして活動を継続しています。

Copyright © 2017 Robert T. Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University. All rights reserved.





SafeHemo

新興国に蔓延する食料汚染問題の解消を目指したチーム。

アフリカ諸国では、一般消費者は小麦を直接近隣の製粉所に持ち込み、精製してもらった小麦粉を家庭で調理したり、レストランに持ち込んだりして日々の食事に用いています。しかし、製粉所は個人が営む零細事業所であり、高価な製粉機をメンテナンスするだけの経済的な余裕がありません。そのため、製粉機のブレードがしだいに欠けて小麦粉に微細な鉄粉が混入、がんや肝硬変の原因となる鉄分過剰摂取症を引き起こして、近年大きな社会問題となっています。

チームSafeHemoは、この問題の解決に向け、混入鉄量の測定と混入鉄粉の除去、そして最終的に生産された小麦粉がWHOの定める健康基準に合致したものかどうかを示す検定を組み合わせたパッケージビジネスを提案。メンバーは帰国後も活動を継続、開発途上国の社会課題解決を目指す『40億人のためのビジネスアイデアコンテスト※』を目標にプロジェクトに取り組んでいます。

※ 『40億人のためのビジネスアイデアコンテスト』www.4b-bizcon.com/

Proc-Terminator

「Procrastination（＝先送り）」現象に着目。AIを活用した提案型スケジューリングアプリで生産性と生活満足度の向上を目指しました。

独自の強化学習アルゴリズムによりアプリの利用頻度・期間が増えるほど精度が高まり、ユーザーのワーク／ライフスタイルにより合致したスケジュールが生成される行動経済学的アプローチが特長。

E-Peers

幼児向けの家庭用AI搭載語学学習ロボットの開発を提案。

初等中等教育から大学まで多くの時間と資金が投じられているにもかかわらず、アジア最低ランクを脱しきれない日本の英語教育の改善を目指しました。語学習得を専門とする九州大学の教授や学生とコラボした開発環境、市場調査の完成度、プレゼンテーションの質の高さ等が評価されました。

Copyright © 2017 Robert T. Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University. All rights reserved.

九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

IDEA
Innovation × Diversity ×
Entrepreneurship Education Alliance

QREC | Robert T. Huang Entrepreneurship Center of Kyushu University
九州大学 ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター

問い合わせ先

松永 正樹
九州大学QREC特任准教授

E-Mail: matsunaga@qrec.kyushu-u.ac.jp
TEL: 092-802-6060（QREC事務局）